

特区民泊関連事業の支援

予算額 4,813万3千円

副題：全国初の特区民泊開始で、区内の産業振興を！

ポイント

全国に先駆けてスタートした特区民泊に合わせて、区内商店街、銭湯（公衆浴場）、産業団体等が実施する、特区民泊利用者等を対象とした事業やホームページの多言語化を支援し、来訪者の地域回遊を促進し区内産業の活性化を図ります。

特区民泊を契機に、区内各種産業団体の訪日外国人に関する課題・要望を把握するとともに、事業アイデアも募集し、効果の見込まれる取り組みについて経費の一部を補助し区内産業の活性化を図ります。

事業概要

1 商店街・特区民泊等宿泊施設連携事業 3,120万円

「新・元気を出せ！ 商店街事業」を拡充

商店街が多言語マップ及び多言語クーポンチケットを作成し、特区民泊利用者を含む近隣施設宿泊者へ配布する事業や商店街ホームページの多言語対応を実施する場合に対象経費の5/6を補助します。



2 公衆浴場・特区民泊等宿泊施設連携事業 1,000万円

「公衆浴場事業助成（浴場利用促進事業）」を拡充

大田浴場連合会が実施する、特区民泊利用者を対象とした銭湯体験事業の経費や、大田浴場連合会ホームページの海外アクセス対応に向けたリニューアル経費を最大1,000万円まで補助します。



3 産業団体等文化交流支援事業 505万3千円

「大田区産業団体等経営革新事業」を拡充

各種産業団体が実施する外国語講習の講師謝礼経費や、多言語マップ、多言語パンフレット等の外国人対応事業について対象経費の4/5、最大50万円まで補助します。

4 各種産業・特区民泊連携事業 188万円

特区民泊と区内各種産業の活性化が期待できる事業アイデアを個人、民間企業、NPO団体から広く募集し、魅力ある事業を創出・表彰します。

| | | | |
|------|-------|-------|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 産業経済部 | 産業振興課 |
| | 課長氏名 | 西野 正成 | 電話 5744-1337 |
| | 担当者氏名 | 門馬 剛 | 電話 5744-1373 |

道路占用特区によるまちのにぎわい創出

予算額 500万円

副題：「道路」を起点とし、新たなまちのにぎわいを創出します。

ポイント

国家戦略特別区域法に規定する国家戦略道路占用事業の認定を受けた「さかさ川通り」において、「おもてなしストリート」イベントを開催することで、道路を起点とした新たなまちの賑わいを創出します。

事業概要

「おもてなしストリート」支援事業 500万円

国家戦略特別区域法に規定する国家戦略道路占用事業の認定を受けた「さかさ川通り」において、交通規制を行いマルシェなどのイベントを開催します。商店街を中心とした地元有志の「さかさ川ーおいしい道計画ー」が主体となって実施する、四季折々の「おもてなしストリート」イベントに係る経費を最大500万円まで補助します。

【これまでの「おもてなしストリート」イベント】

平成26年6月 「おいしい1週間」
平成26年10月 「おいしい収穫祭」
平成27年5月 「おいしいピクニック」
平成27年7月 「おいしい音楽祭」
平成27年10月 「おいしい収穫祭ー2015ー」

これまでのイベントの様子



| | | | |
|-----|---------|-------|--------------|
| 問合先 | 担当部課担当課 | 産業経済部 | 産業振興課 |
| | 課長氏名 | 西野 正成 | 電話 5744-1337 |
| | 担当者氏名 | 門馬 剛 | 電話 5744-1373 |

区内商業の振興

予算額 1,781万7千円

副題：商店街でのおもてなしや回遊性向上によって、活性化へつなげます

ポイント

2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機に、多くの観光客や来街者を迎えるために、区内商店街の景観整備やお休み処の整備を促進します。

商店街イベントの活性化を図るために、イベント事業等を実施する区内商店街に対し、専門家である中小企業診断士等を派遣し支援を行います。

事業概要

1 商店街景観整備事業 900万円

- (1) 商店街景観整備計画策定（調査）事業 800万円
 ミハラ・池上地区に続く候補地を選定するために、大田区商店街連合会が実施する商店街景観整備計画策定（調査）事業の経費を補助します。
- (2) 商店街景観整備後の実態調査事業 100万円
 ミハラ地区における整備後の状況を検証・分析し、フォロー体制を整えるため、4商店会で実施を予定する実態調査事業の経費を補助します。



景観整備事業（ミハラ地区）

2 商店街コミュニティ活性化事業 130万円

お休み処の新規開設を予定している、2商店街に対し、開設経費の一部（看板・什器費等）を最大65万円まで補助します。



コミュニティ施設（アキナイ山王亭）

3 中小企業診断士への実績報告委託事業 751万7千円

中小企業診断士団体等に、現地視察や実績報告支援、商店街活動アドバイス等を業務委託し、専門家による商店街支援を充実します。

| | | | |
|------|-------|-------|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 産業経済部 | 産業振興課 |
| | 課長氏名 | 西野 正成 | 電話 5744-1337 |
| | 担当者氏名 | 門馬 剛 | 電話 5744-1373 |

女性・若手の活躍による商業活性化

予算額 650万円

副題：新たな人材の育成と掘り起しにより商店街を活性化します

ポイント

経営主の高齢化と後継者不足という喫緊の課題に対し、商店街の女性・若手事業者を中心とした新たな人材の掘り起こしと、次世代の商業振興においてキーマンとなる人材の育成を行うことで、魅力ある事業を創出し、区内商業の活性化を推進します。

事業概要

1 商店街女性・若手チャレンジ事業 500万円

区内商店街の女性・若手事業者が中心となって企画・実施する商店街活性化に寄与する新規事業に対し、対象経費の4/5、最大100万円まで補助します。女性・若手事業者の商店街活動への参加を促し、商店街の後継者育成を図るとともに、女性・若手の柔軟な発想と行動力を活かした魅力ある事業を行うことで商店街の賑わいを創出します。



2 若手商人ネットワーク事業 150万円

主に区内商店街の女性・若手事業者を対象に、経営講習会等を開催することにより、事業者間のネットワークを構築・強化するとともに、商店街等の組織におけるリーダー・後継者を育成します。



↑女性・若手チャレンジ事業として実施された石川台希望ヶ丘商店街ハロウィン

| | | | |
|------|-------|-------|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 産業経済部 | 産業振興課 |
| | 課長氏名 | 西野 正成 | 電話 5744-1337 |
| | 担当者氏名 | 門馬 剛 | 電話 5744-1373 |

公衆浴場への支援

予算額 5,560 万円

副題：地域の資源である銭湯、温泉の支援を充実します

ポイント

大田区には都内有数の銭湯（公衆浴場）数があり、その中には天然の黒湯（くろゆ）温泉を利用しているところも数多くあります。観光資源としても認知されている銭湯を維持、充実するための支援を行います。

事業概要

地域の資源であり観光スポットとしても注目されている温泉を維持確保するため、温泉の出る銭湯に対し、温泉成分分析や温泉用配管修繕など温泉メンテナンス経費の一部を、最大 30 万円まで補助します。



大田区の銭湯



黒湯温泉

危険作業である高所清掃時の転落事故を防ぐため、銭湯の高所清掃作業の費用に対し、最大 8 万円まで補助します。

【大田区の銭湯】・・・銭湯は江戸時代から庶民が体を清潔に保つためだけでなく、交流の場としても親しまれてきました。大田区では、商店街や住宅街に銭湯が点在し、天然の黒湯温泉を利用している銭湯も多いことに特徴があります。大田区には、昔懐かしい宮造りの銭湯から、湯船に浸かりながら泳いでいる魚が見える最新設備の銭湯まで様々存在しています。

【黒湯温泉とは】・・・大田区などの臨海部周辺には、淡褐色や黒褐色の「黒湯」と呼ばれる温泉が広く分布しています。メタケイ酸や炭酸水素塩類（重曹）などを含む 25 度以下の温泉で、大昔の海水を由来とする「化石水」と言われています。

| | | | |
|------|-------|-------|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 産業経済部 | 産業振興課 |
| | 課長氏名 | 西野 正成 | 電話 5744-1337 |
| | 担当者氏名 | 門馬 剛 | 電話 5744-1373 |

商店（飲食店）表彰制度

予算額 373万7千円

副題：表彰制度をリニューアル 対象店舗を拡大します！

ポイント

大田区内の特色ある優良な飲食店を表彰しPRする制度である「OTA！いちおしグルメ」を継承しつつ、総合部門、こだわり部門の2部門を設けることで対象店舗を拡大し、繁盛店の飲食店を掘り起こします。2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を契機に、多言語化したWebや印刷物を作成するなど、国内外からの誘客を図り商業圏の活性化と産業・観光振興を促進します。

事業概要

1 表彰事業の実施

327万円

料理、店舗の雰囲気、サービス面等、あらゆる面で品質の高い総合部門と、味や独創性など特定の分野に秀でているこだわり部門の2部門を設けて申込店舗を募集。調査・審査会を経て、表彰店舗10店舗を決定します。決定後、Webや印刷物などPRツールを作成し、10月中旬に開催する「おおた商い・観光展」での表彰式を皮切りに、大田区観光情報センター、各鉄道駅構内、ホテルなどに紹介リーフレット（日・英・中の各言語）を設置します。Webにも、各言語リーフレットのPDF版を掲載するなど、国内外に幅広くPRします。



前いちおしグルメ 紹介リーフレット

2 表彰店舗のPRを拡大

46万7千円

民間の広告媒体（公共交通機関など）を活用して、表彰店舗10店舗を区内外に幅広くPRし、表彰店舗への誘客と商業圏の活性化を図ります。



前いちおしグルメ 店舗の一例

| | | | |
|------|-------|-------|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 産業経済部 | 産業振興課 |
| | 課長氏名 | 西野 正成 | 電話 5744-1337 |
| | 担当者氏名 | 門馬 剛 | 電話 5744-1373 |

フードビジネス支援事業

予算額 447万3千円

副題：区内中小食品事業者の取引拡大や課題解決をサポートします！

ポイント

食品関係事業者が、フード展示商談会や業界団体主催の展示商談会に出展することで、区内食品事業者の取引拡大となる機会を提供し、区内商業の活性化を図ります。区内商業事業者の基礎情報や課題を把握して取引拡大につながる事業を構築するため、新たに個別の店舗・事務所への巡回訪問や相談対応できる「商業事業者相談員」を配置します。

事業概要

1 フード展示商談会の実施

39万2千円

百貨店、スーパー、食品商社、卸等の事業者と区内食品事業者との事前マッチング形式の展示商談会を実施し、新たな取引先開拓の機会を提供します。



フード展示商談会

2 業界団体主催の展示商談会への共同出展

27万4千円

更なる販路拡大を目指す食品事業者に対して、幅広い業種の事業者が来場する業界団体主催の展示商談会に共同出展することにより、取引拡大を図ります。



展示会への共同出展

3 「商業事業者相談員」による取引促進

380万7千円

区内商業事業者の基礎情報や課題を把握して取引拡大につながる事業を構築するために、「商業事業者相談員」を設置します。

- ①商業事業者への巡回訪問 ②相談受付 ③事業者データの整理
- ④催事研究 ⑤景況調査レポート作成の業務を行います。

| | | | |
|------|-------|-------|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 産業経済部 | 産業振興課 |
| | 課長氏名 | 西野 正成 | 電話 5744-1337 |
| | 担当者氏名 | 門馬 剛 | 電話 5744-1373 |

次世代産業創造事業

予算額 2,818万5千円

副題：大学・研究機関・企業と連携し、大田区企業が新分野・新産業に進出

ポイント

ライフサイエンス・ヘルスケア（医療、介護・福祉、健康等）や新エネルギー、航空宇宙、ロボット、環境等の成長産業分野で、大学・公的研究機関・医療機関・企業との連携により、区内企業がイノベーションを創造し、新分野への進出やベンチャー創出を目指します。既存の医工・産学連携事業及び研究開発マッチング事業を統合します。

事業概要

1 区内企業と大学・研究機関の連携支援 2,515万4千円

大学・研究機関・企業の研究開発者に対して、区内企業のイノベーション創造の取り組みを紹介・PRします。

コーディネーターは大学・研究機関・企業のニーズ（技術）やシーズ（研究素材）を把握し、それに適した区内企業との連携・マッチングを促進します。



研究機関とのマッチング

2 各種展示会への出展 256万6千円

ライフサイエンス・ヘルスケア分野や航空・宇宙、ロボット等の成長産業分野の展示会に出展し、ビジネスマッチングを行うとともに、大田のものづくり力をPRします。



展示会への出展

3 新分野セミナーの開催 46万5千円

大学等と連携した新分野や先端技術の研究会やセミナーを実施します。区内企業がIoT（様々なモノがインターネットに接続され、相互に情報をやり取りすること）やAI（人工知能）等の新分野へ取り組み、イノベーション創造への積極的なチャレンジができるよう企業の経営革新を促します。



切削研削研究会

| | | |
|------|-------|-------------------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 産業経済部 産業振興課 |
| | 課長氏名 | 杉山 良樹 電話 5744-1347 |
| | 担当者氏名 | 西川 恭子・吉崎 彰 電話 5744-1376 |

医工連携自治体協議会による受発注開拓

予算額 50万円

副題：ものづくり企業と医療機器製造販売企業との出会いの場をつくります

ポイント

大田区は、高度な技術を有するものづくり中小企業が集積するまちです。文京区は、医療機器製造販売企業が集積地であり、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（薬機法）」の許認可ノウハウや販売ルート、医療機器等の製造販売網を有しています。川崎市は、殿町国際戦略拠点キングスカイフロントをはじめとして、ライフノベーションに関連する先端的な研究開発機関等の集積が進んでいます。これら3自治体が特色を生かし地域間連携を図ることにより、それぞれの企業の持つポテンシャルを大きく伸ばすことが可能となります。

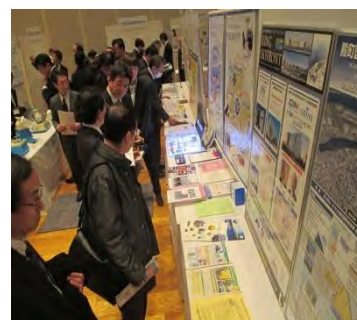
事業概要

大田区のものづくり企業と文京区に集積する医療機器製造販売企業、川崎市の医療機関、先端研究開発機関等との地域を越えた企業間連携の活動を支援します。

3地域の企業の製品や技術の展示を行うとともに、医工連携に関わるセミナー等の開催や企業間の商談の場を設けます。

大田区は、文京区及び川崎市と連携して医工連携に関する自治体間のネットワークを作り、「医工連携展示・商談フェア」を開催します。

医療機器製造販売企業等に対し、大田区のものづくり企業が自社の技術や製品を紹介することで双方の具体的なニーズとシーズが直接交わり、共同開発や課題解決、販路拡大等、新たな業務提携に繋がる機会としていきます。



(平成 27 年度チラシ) (フェア当日の様子)

| | | | |
|-----|-------|-------|--------------|
| 問合先 | 担当部課 | 産業経済部 | 産業振興課 |
| | 課長氏名 | 杉山 良樹 | 電話 5744-1347 |
| | 担当者氏名 | 吉崎 彰 | 電話 5744-1376 |

海外取引拡大に向けた支援事業

予算額 2,381 万 9 千円

副題：中核的企業の国際化を推進し、地域産業全体を活性化します！

ポイント

区内産業への波及効果の高い中核的企業である「コネクター・ハブ企業」に対して、国際化を重点的に支援します。大田区産業の強みを海外にも広くアピールし、区内製造業への受注拡充を図るため、①区内企業のホームページの多言語化支援の拡充、②区内企業が選択する海外見本市への出展経費の一部助成などを実施します。

事業概要

1 海外取引相談事業 1,515 万 2 千円

区内企業の国際化を推進するため、地域に密着したワンストップ窓口として担当職員が個別課題に対応することに加えて、JETRO（日本貿易振興機構）等の外部機関と連携して、コネクター・ハブ企業の海外展開を進める上での課題解決のためのアドバイスをします。特に、「①企業ホームページ多言語化・eコマース強化」「②国際規格の認証取得推進」「③欧州・北米・台湾など高付加価値を創出する海外企業との連携」を強化し、区内企業への取引拡大を図ります。



国際取引商談会

2 海外見本市への出展支援事業 866 万 7 千円

大田区の優れた製品や技術をアピールし、大田ブランドを浸透させるため、IoT（様々なモノがインターネットに接続され、相互に情報をやり取りすること）など産業高度化を牽引するドイツの自動化関連見本市「AUTOMATICA」に大田区企業と共同出展します。また、専門化・細分化したニーズに応えるべく、海外見本市（自由選択制）に単独出展する企業に対して費用の一部を助成（上限 35 万円）し区内企業への取引拡大を図ります。



海外見本市への共同出展

| | | |
|------|-------|-------------------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 産業経済部 産業振興課 |
| | 課長氏名 | 杉山 良樹 電話 5744-1347 |
| | 担当者氏名 | 西川 恭子・吉崎 彰 電話 5744-1376 |

事業名：新製品・新技術開発支援事業

予算額 8,399万2千円

副題：デザイナーとのマッチングによって、創造的な発想で製品開発を！

ポイント

区内製造業の集積を維持・発展するためには、限られた経営資源を最大限に活かしつつ、付加価値の高いものづくりを実現していくことが不可欠です。

そのためには区内中小企業の新製品・新技術開発力を向上させる必要があります。本事業では、①新製品・新技術開発支援事業補助金の交付、②デザイナーとのマッチングによる製品開発の促進、③開発した優秀な製品・技術を表彰、販路拡大支援等を行うことを進めていきます。

事業概要

1 助成事業（開発ステップアップ助成・実用化製品化助成・開発コラボ助成）

8,082万円

- (1) 開発ステップアップ助成：企画・設計から試作開発までの取組みに対し助成限度額 500万円×7件
- (2) 実用化製品化助成：試作開発後の実用化製品化に向けた取組みに対し助成限度額 500万円×7件
- (3) 開発コラボ助成：デザイナーとマッチングし両者が取組む開発に対し助成（平成27年度採択分のみ）

2 表彰事業（新製品・新技術コンクール）

245万8千円

最優秀賞 1点 賞金 30万円

優秀賞 2点 賞金 10万円

奨励賞等 6点 賞金 5万円



第27回新製品・新技術コンクール 最優秀賞
非接触吸着盤「ノンコンタクトチャッキング」
液晶業界向け非接触吸着盤

3 デザイン・プロジェクト 71万4千円

中小企業とデザイナーとのマッチングや工場見学、製品開発の勉強会・セミナーを組合せ、自由な発想による製品開発プロセスを学び、新製品開発につなげます（参加企業3社予定）。

| | | | |
|-----|-------|-------------|--------------|
| 問合先 | 担当部課 | 産業経済部 産業振興課 | |
| | 課長氏名 | 杉山 良樹 | 電話 5744-1347 |
| | 担当者氏名 | 西川 恭子・吉崎 彰 | 電話 5744-1376 |

区内工場立地・操業環境整備助成事業による区内工場集積の

維持・強化に対する助成

予算額 2億1,527万4千円

副題：企業立地を促進し、大田区のものづくり基盤技術集積を維持・強化します

ポイント

区内工場数の減少傾向が続く一方、区内企業の事業規模の拡大・高度化等にもともなう工場拡張等のニーズや、区外から大田区への立地ニーズが増加し、そのための事業用地・工場物件等が不足している状況です。このような立地ニーズに応え、事業拡張や新規立地を促進していくため、区内の不動産情報を収集して工場立地のマッチングを図ると共に、助成事業を拡充し、大田区のものづくり基盤技術集積の維持・強化を図ります。



事業概要

1 企業誘致・企業留置・不動産調査サポート業務委託(助成金相談・申請受付業務を含む)

1,550万3千円

区内の空き工場・工業用地情報を把握し、最適なマッチングにつなぎ、工場集積の維持・強化を図ります。あわせて、助成金相談・申請受付業務を外部委託し、区窓口に加え現場でお話を伺うことで、よりきめ細やかなご案内を行い、制度の活用促進及び区施策のPRの充実を図ります。

2 貸工場・工業用地マッチング事業

15万円

(公社)東京都宅地建物取引業協会と連携することで、ものづくり企業に提供する不動産情報の充実を図り、貸工場・工業用地マッチング事業を拡充します。

3 ものづくり工場立地助成、研究開発企業等拠点整備助成、ものづくり企業立地継続補助金

1億9,962万1千円

区内で操業を希望する企業が事業規模の拡張や事業の高度化のために行う工場の新增設・移転に関わる経費を1/3、最大1,000万円まで、ファブレス企業(自らは企画・設計や研究開発等に特化し、生産は外部に外注・委託する企業)など研究開発型企业等の拠点整備に関わる経費を1/3、最大300万円まで、操業環境の改善に関わる経費を3/4、最大375万円まで助成します。

| | | |
|------|-------|-------------------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 産業経済部 産業振興課 |
| | 課長氏名 | 杉山 良樹 電話 5744-1347 |
| | 担当者氏名 | 西川 恭子・吉崎 彰 電話 5744-1376 |

創業支援の充実

予算額 997万2千円

副題：人のつながりをつくり、新たなビジネスの創出を支援します

ポイント

「ビジネスがしやすいまち大田区」の実現のため、新しい融資制度による資金調達の負担軽減や、企業・人が交流できるコワーキングスペースの利用促進により創業者を支援します。また、地域課題をビジネスの手法で解決するコミュニティビジネスの創業支援を強化し、若者・女性・高齢者などの活躍の機会を増やします。

事業概要

1 開業資金制度の充実 新創業融資制度利子補給の新設 372万2千円

日本政策金融公庫の新創業融資借受者で大田区内で創業する等、一定の要件を満たした方に対して、融資実行後の支払利子の一部を区が負担し区内創業者を支援します。

【制度概要】

対象者：日本政策金融公庫の新創業融資借受者で区が定める要件を満たした創業者

補助期間：（融資実行の属する月から）36か月間

補助割合：支払利子の50%

2 イノベーション創造サロンの活用 475万2千円

産業プラザ2階のコワーキングスペースを使って、創業希望者向けのビジネスセミナーから新規事業展開を目指す中小企業向けの専門セミナーまで、幅広い学びの場を提供します。また、区内企業とのセッションや集まる人々の交流を促し、参加者同士のネットワークの構築を通して、新規事業の創出につなげていきます。

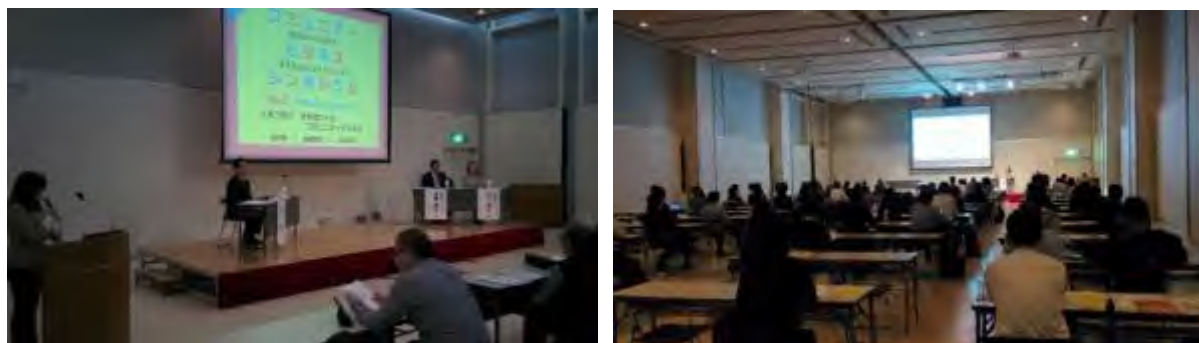


イノベーション創造サロン（セッションの様子）

3 地域課題解決型ビジネス支援

149万8千円

コミュニティビジネスに関心のある方を幅広く対象としたシンポジウム及びコミュニティビジネスでの創業を目指している方を対象とした創業塾を開催し、人材育成の充実を図ります。



コミュニティビジネスシンポジウム（会場の様子）

| | | | | | |
|-----|-------|----------|-------|-----------|-----------|
| 問合先 | 担当部課 | 産業経済部 | 産業振興課 | | |
| | 課長氏名 | （上記1, 3） | 西野 正成 | 電話 | 5744-1337 |
| | | （上記2） | 堀江 豊 | 電話 | 5744-1614 |
| | 担当者氏名 | （上記1） | 佐野 憲一 | 電話 | 3733-6185 |
| | （上記2） | 木内 健 | 電話 | 5744-1641 | |
| | （上記3） | 門馬 剛 | 電話 | 5744-1373 | |

新空港線の整備促進事業

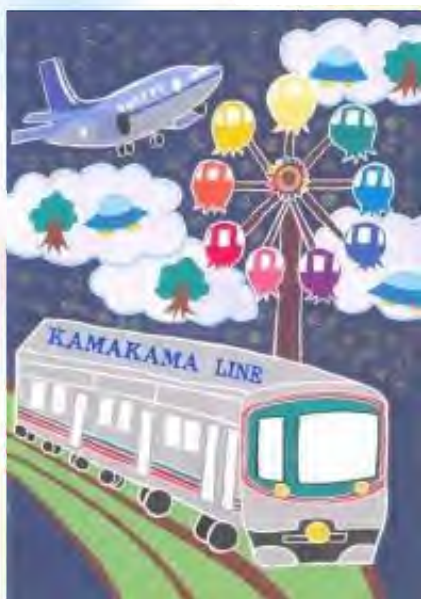
予算額 5億1,962万1千円

副題：羽田空港と都心・副都心を繋ぐ交通ネットワークの形成を目指して

ポイント

JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅間の800mを鉄道で結ぶことで、区内の東西交通の分断を解消し、区民の移動利便性が向上します。また、平成27年度に実施した経済波及効果の算出により、新空港線の整備が区内にもたらす効果が非常に高いことが示され、地域経済の活性化にもつながる事業となります。

つながり はばたけ 新空港線



新空港線標語・絵画コンクール
最優秀作品



事業概要

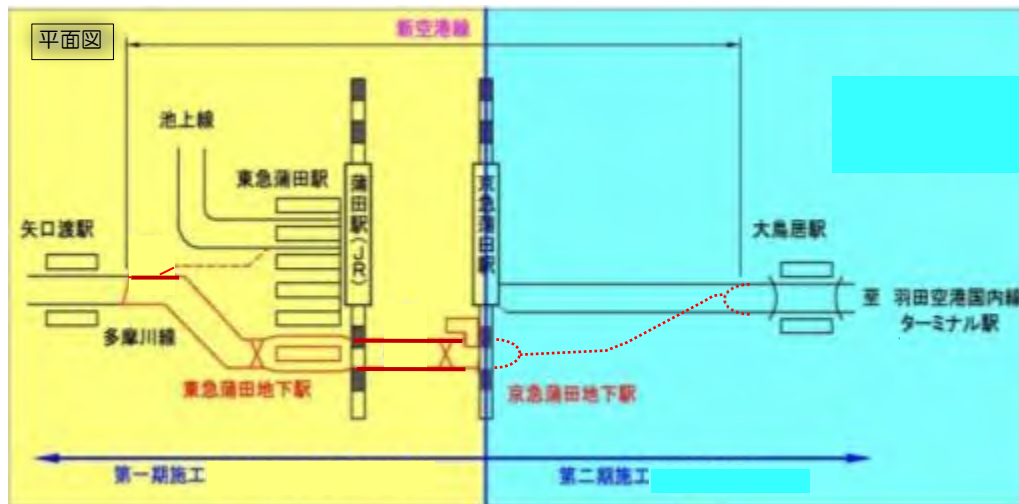
新空港線については、平成 28 年 3 月に 15 年ぶりとなる新たな答申が国の交通政策審議会から公表される予定となっています。

新空港線が整備されることにより、区内の東西方向の移動が格段に便利になるほか、東横線や副都心線との相互直通運転が可能となり、都心・副都心及び埼玉県方面からの空港アクセスが著しく向上します。また、蒲田駅東西口及び多摩川線沿線等のまちづくりと連携・連動することにより、沿線地域の活性化が図られます。加えて、災害時や緊急時の迂回ルートとしての役割を担うため、沿線のみならず東京全体の都市機能強化にも大きく寄与します。

1 新空港線の整備促進事業 1,653 万 7 千円

答申後、すみやかに事業化できるように、新大田区案の個別具体的な課題について、これまでの調査・研究の深度化を図ります。また、新空港線整備促進区民協議会の開催や広報・啓発活動を通じて、区内の整備促進の気運をより一層高め、新空港線の早期整備実現に向けて全力で取り組みます。

※新大田区案とは、平成 26 年に大田区が独自に発表した案（下記図）です。



2 新空港線整備資金積立基金 5 億 308 万 4 千円

新空港線の工事準備資金として平成 24 年度から行っている積立基金について、平成 28 年度も引き続き 5 億円の積み立てを行います。

| | | | |
|-----|-------|-------------------|--------------|
| 問合先 | 担当部課 | まちづくり推進部 まちづくり管理課 | |
| | 課長氏名 | 山田 誉 | 電話 5744-1691 |
| | 担当者氏名 | 大見 真吾 谷田川 泰 | 電話 5744-1303 |

羽田空港跡地における成長戦略拠点の形成

予算額 6,611万4千円

副題：世界と地域をつなぐ「HANEDA」で、「新産業創造・発信拠点」を形成

ポイント

中小企業の集積や羽田空港に近接する大田区の立地特性を活かし、羽田空港跡地に「新産業創造・発信拠点～HANEDA ゲートウェイ～」を形成することで、大田区をはじめとする地域経済の活性化と、日本のものづくり国際競争力の強化に寄与します。

事業概要

「羽田空港跡地第1ゾーン整備方針（平成27年7月策定）」や「羽田空港跡地まちづくり推進計画（平成22年10月策定）」を踏まえ、国家戦略特別区域制度を活用しながら平成32年（2020年）のまちづくりの概成を目指します。

1 拠点形成に係る取組み推進

3,262万8千円

官民連携による拠点形成を図るため、事業者公募の手続きに着手します。

2 基盤施設の整備検討

1,256万1千円

第1ゾーンに整備予定の公園施設等に対する地元意見の収集や第2ゾーン緑地部分の都市計画決定手続きを進めます。

3 協創プロジェクトの推進企業育成業務

720万円

多様な主体が参画し、製品開発などを図る「協創プロジェクト」を推進するため、区内企業の開発提案力向上につながるプログラムを実施します。

4 クールジャパンネットワークの組成業務

900万円

クールジャパン発信拠点の形成に向け、全国の地域資源の担い手とのネットワークを組成するなど、取り組みを進めます。

5 羽田の歴史コーナーに係る調査業務

472万5千円

GHQによる接収や羽田空港など、地域の歴史を次世代に伝承する「羽田の歴史コーナー」の設置に向け、調査等を実施します。



| | | | | |
|-----|---------|--|----------------------------|--|
| 問合先 | 担当部課担当課 | (上記 1, 2, 4, 5) (上記 1, 3) | 空港まちづくり本部 産業経済部 | 空港まちづくり課 産業振興課 |
| | 課長氏名 | (上記 1, 5) (上記 2) (上記 1, 3) (上記 4) | 山浦賢一 中村誠 堀江豊 白鳥信也 | 電話 5744-1537 電話 5744-1646 電話 5744-1614 電話 5744-1648 |
| | 担当者氏名 | (上記 1, 4, 5) (上記 1, 3) (上記 2) | 毛塚朋大 木内健 鈴木隆広 | 電話 5744-1650 電話 5744-1641 電話 5744-1650 |

蒲田駅周辺地区の整備

予算額 3億1,730万円

副題：西口駅前広場の整備が始まる ～蒲田駅周辺再編プロジェクト～

ポイント

区を中心拠点である蒲田駅周辺地区については、平成25年度に策定した「蒲田駅周辺再編プロジェクト」を具体化するために、初動期では蒲田駅東西駅前広場や東口地下自転車駐車場の整備を進めています。

中・長期的な取り組みでは、駅の東西自由通路の検討や駅周辺街区の建替えを支援し、環境にやさしく快適で更なる活力を生み出す都市の再生を図ります。

事業概要

1 蒲田駅周辺再編プロジェクト推進業務

中・長期の取り組みでは、交通結節点機能を強化するため、東西自由通路の整備に向けて鉄道事業者等と調整を行います。また、都市計画の整備手法や範囲を検討し、駅周辺街区の共同化や建替え促進の支援を行います。



2 蒲田駅前広場の再生整備（設計・工事）

西口では、平成27年度に整備を終える交通島を除く駅前広場の整備を行います。

また、東口では地下自転車駐車場について設計条件の整理と予備設計を行います。



西口駅前広場の整備イメージ

| | | | |
|------|-------|----------------------|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | (上記1) まちづくり推進部 都市開発課 | |
| | | (上記2) 都市基盤整備部 建設工事課 | |
| | 課長氏名 | (上記1) 保下 誠 | 電話 5744-1341 |
| | | (上記2) 石井 一雄 | 電話 6436-8720 |
| | 担当者氏名 | (上記1) 富永 佳孝 | 電話 5744-1339 |
| | | (上記2) 中山 岳人 | 電話 6436-8728 |

大森駅周辺地区の整備

予算額 4億3,621万7千円

副題：補助 28 号線（池上通り）の拡幅整備と一体的なまちづくりの推進

ポイント

区を中心拠点として、グランドデザインに基づくまちづくりに取り組んでいる大森駅周辺地区について、都市計画道路補助 28 号線（池上通り）の拡幅整備及び沿道のまちづくりを進めます。

また、臨海部との交通結節点としての役割を担う平和島駅周辺について、歩行者の滞留による車道へのはみ出しや、客待ちタクシーによる道路占有等の課題解決に向けた検討を進めます。

事業概要

1 池上通り及び沿道周辺の用地測量及びまちづくり支援

池上通りの拡幅整備に向け、沿道を含めた用地測量を実施します。また、地権者組織によるまちづくり活動を支援します。

2 まちづくり用地の購入

拡幅整備区域内で事業継続を希望する地権者の方々の共同建替えなど、地権者の意向に沿ったまちづくりを推進するため、まちづくり用地を購入します。

3 沿道建物の共同建替支援

老朽建物の更新を円滑に進め、安全安心な歩行者空間を創出するため、沿道建物の共同建替えについて支援します。

4 平和島駅周辺の整備計画案の作成

平和島駅周辺の課題解決に向け、歩行者空間やバス・タクシー乗降場のあり方等について検討し、再整備計画案を作成します。



大森駅西口駅前



朝夕の通勤時間帯に信号待ちの歩行者が歩道にあふれる京急平和島駅

| | | | |
|------|-------|----------------|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | まちづくり推進部 都市開発課 | |
| | 課長氏名 | 武藤 和志 | 電話 5744-1454 |
| | 担当者氏名 | 松島 愛一郎 | 電話 5744-1339 |

空港臨海部まちづくり・交通ネットワーク等調査

予算額 1,929 万 4 千円

副題：「働いてよし、訪れてよし」の空港臨海部まちづくり

ポイント

空港臨海部は、日本の玄関口である羽田空港を始め、陸・海・空の要であるとともに、製造・物流施設等や魅力ある海上公園等の観光資源が多数あります。

大田区では、平成 22 年 3 月に策定した「空港臨海部グランドビジョン 2030」の実現に向けて、空港臨海部のさらなる発展を目指します。

事業概要

平成 24 年度より空港臨海部における課題整理、「重点地区」のプロジェクト実施に向けた詳細な調査・検討を行ってきました。

今後は、島部の産業振興や賑わい創出、円滑な交通ネットワーク整備等の実現を目指し、さらに広域的な視点で課題解決に向けて具体的な事業の実施に取り組みます。

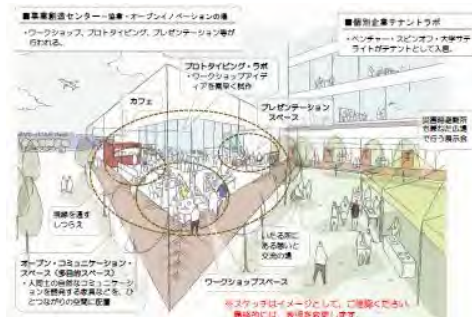
※重点地区とは、羽田旭町周辺、流通センター駅周辺、大森ふるさとの浜辺公園周辺の 3 地区です。

1 空港臨海部まちづくりの調査検討

重点地区の民間開発や区事業の進捗にあわせて詳細検討・協議を継続し、着実に事業を推進します。また、島部のまちづくりビジョン策定を目指し、地元団体等と課題整理や施策方針等の検討を進めます。

2 空港臨海部交通ネットワークの調査検討

内陸部からのアクセス強化と周遊性の向上に重点をおきながら詳細検討を進めます。とりわけ、鉄道駅を拠点とした島部における多様な移動手段の検討や、水辺空間の活性化に向けた舟運の社会実験に取り組みます。



島部のまちづくりビジョン案



水辺空間の活性化

| | | | |
|------|-------|----------|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | まちづくり推進部 | まちづくり管理課 |
| | 課長氏名 | 浦瀬 弘行 | 電話 5744-1671 |
| | 担当者氏名 | 吉田 治 | 電話 5744-1332 |